

絆

オリエンテーション合宿も終わり、気がつけばもう5月になっていました。例えば1ヶ月前、学年の先生方と一緒に鉢伏へ下見に行ったときはあたり一面銀世界で今回みなさんが目の当たりにした景色とは全く違っていました。3月下旬の季節外れの寒波で、鉢伏はすっかり真冬のスキー場だったのです。

そう思うと、このひと月で随分暦は先へ進んだのだと感じます。そしてそれはみなさんの身の回りを取り巻く環境も同じではないでしょうか。このひと月は同じ1ヶ月でもみなさん自身の暦を大きく先へ進める段差の大きいひと月だったのではないのでしょうか。



今回のオリエンテーション合宿では

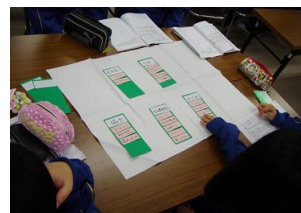
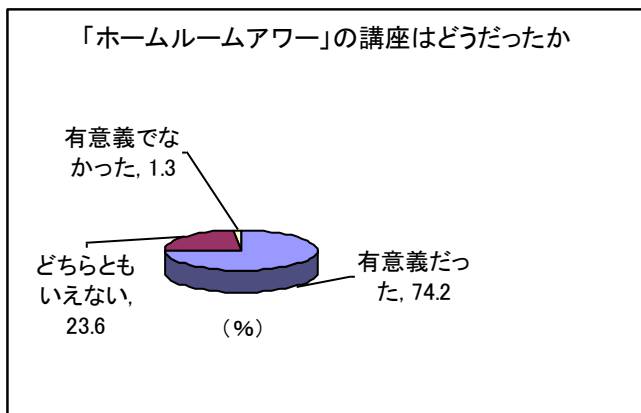
- ① 集団生活をとおして時間や物の管理に責任をもち、学年全体の人とのつながり(絆)を意識すること。
- ② 「集団行動」を通して周囲との協調性やチームワークの精神を身に付けること。
- ③ 「ホームルームアワー」などを通してクラスという集団の中で人と人のつながり(絆)の大切さを感じる。
- ④ 「産社」を通して人と社会のつながり(絆)を学んでいく基礎を作ること。
- ⑤ そのために必要となる学力の土台を「英数国」の講座を通して学ぶこと。

主にこれらのことを皆さんに、学び身につけてほしかったわけですがどうだったでしょうか？中には様々な指導において厳しさを感じた人もあったかもしれませんが、しかしその厳しさは同時に、皆さんの暦を大きく先へ進める段差の大きさの表れなのかもしれません。皆さんは中学4年生ではないのです。高校1年次生なのです。少しずつ視野を広げ、厳しい現実の社会に近づかなければなりません。その為の最初の一步を大きく踏み出した今回の合宿だったのです。

友達や先生との間に渡した絆は、今はまだ細い紐かもしれない。でも、最初に渡した1本の紐はいずれ人が渡れるつり橋となり、さらには車も通れる大きな橋となるでしょう。この1本の紐を手がかりに、更に太い絆で各クラスが、そして11期生がつながってけると信じています。



～生徒アンケートより I～

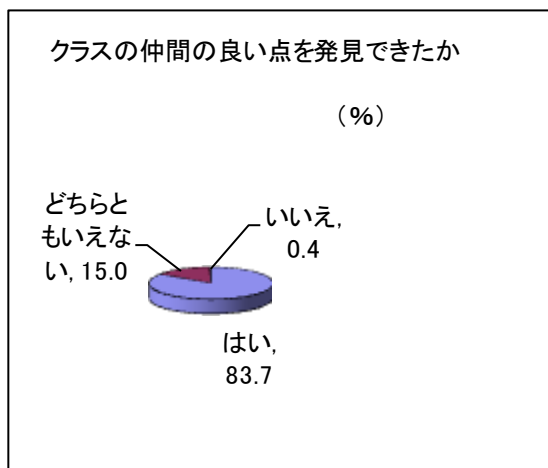


今年、新たな取組みとして行ったホームルームアワー。「KJ法」という手法でクラス目標をたてました。

- 1組 「協調性を養う ～積極的かつケジメ～」
- 2組 「声が飛び交う “The Best Class” 」
- 3組 「39×個性＝∞」
- 4組 「キラリ☆4組 個性を認めあえる 39人～担任のように熱く！！」
- 5組 「KEEP on 輝き！！ ～個性を活かして～」
- 6組 「燃え上がれ6組ポジティブファイヤー ～一致団結～」

どのクラスも個性的で元気が出てくる目標になっていると思います。と同時にこの目標に至るプロセスで、クラスメイトと色々議論したことと思います。それこそが大切なのだと思います。

またこれらの取組みを通して「クラスの仲間の良い点を発見できたか？」という問には約84%の人が「はい」と答えていました。



～生徒アンケートよりⅡ（文章表記）～

- 今回の合宿は北高生としての意識をしっかりと自覚する良い機会になったと思います。高校生になってまだ一ヶ月もたたない時期、まだ中学生の気分がどこかに残っていた気がします。またクラスの内外で大勢の人と接したことで新しい絆を作ることが出来たと感じています。
- 校歌コンクールと発表会で賞を取れなかったのは残念でしたが、とてもよい経験になりました。クラスの子と仲良くなれてうれしかったです。宿舎でもおいしいご飯を食べれて本当に満足です。少ししんどかったけど登山で頂上に着いたときの達成感はい言表せないものでした。この経験を活かし、高校でがんばっていこうと思います。
- 合宿で1, 2日目の予定が変更になって、二日目講座が多く、とても疲れたがクラスの友達と更に仲良くなれたりいつも見れないところが見れてクラスも1つにまとまってきた感じがしました。また10分前行動などあいさつで時間を守ることやあいさつが大事なことを改めて学びました。厳しいところもあったがとても楽しかった。
- 最初は講座ばかりで大変だと思っていましたが、講座が始まると思ってた以上に楽しかったです。ごはんもおいしく、夜食ができたことはとてもうれしかったです。クラスの人たちとも話すきっかけができ、新しい友達ができてよかったです。ホームルームアワーではみんなが協力して行動できたと思うのでよかったです。少し疲れたけど楽しい合宿でした。
- すごく厳しい中での生活だったけど、だからこそちゃんと時間を守ったり仲間と協力したり、小さなことへの心配りをする事の大切さが分かったと思います。北高は中学と違うんだな、と改めて思い知らされたけれど、とても充実していて有意義な3日間を過ごせたと思います。
- オリエンテーション合宿を通してクラスの友達との仲を深めることができたのが最も良かったと思います。規律の厳しい合宿だったからこそ、みんなで協力して過ごすことが出来ました。校歌や集団行動ですごく頑張ってる人を見つけて自分も刺激を受けたり、目標決めや北フェスのやつも、みんなですごい案をたくさん出せた所はすごいと思いました。産社で自分の将来を友達と話したりするのもとても面白かったです。考えないといけないことを教えてもらいました。班長としてもしっかり行動できました。
- 全体的に有意義なオリエンテーション合宿になったと思います。特にクラス単位での活動や行動のときがとても印象に残っています。けっこういろいろ厳しいと感じたけれど、そのおかげで身についたこともありました。学校生活の中でもこの経験を役立てていくことが一番大切だと私は思いました。
- クラスアワーでクラス目標が一番心に残った。みんなが話し合い意見を出して積極的に取り組んでいたのがよかったです。集団行動や校歌コンクールではみんなが一つになり協力し合えて最優秀賞がとれてうれしかった。今後の学校生活にオリ合宿で学んだことをいかしていきたいです。



- 全体を通して非常に有意義なものだったと思う。特に集団行動練習ではクラスのみんが指揮者に耳を傾け一丸となって練習していて、団結した感じがよく伝わった。結果は優秀賞で個人的には少し悔しかったが伸びしろがまだあるということだととらえて今後も頑張っていきたい。
- 産社の授業を通して自分を見つめ直す機会がとれたので自分自身の考えのあり方というものを感ずることができました。自分はきちんと考えを持っていると思っていても、それは思っただけで実際書いてみると上手く表現できず「書く表現」は「思っていること」と全く別のよう思いました。今後の産社の授業も頑張りたいです。
- とても厳しかった。「時計を見ながら行動しろ」と何回も言われたりした。朝、起きるのがみんなより遅く、部屋の片づけが遅れたりもした。様々な面でしごかれました。国語の講座の時、うとうとしてしまい忘れていた状態です。自分の生活の仕方が変わってしまい、色々と狂ってしまった合宿でした。
- 行く前は嫌だと思っていたけれど、1日目の登山や食事の時間など楽しいことも多かった。でも5分前行動など厳しい事も多く少し疲れた。だけどそのおかげで時間を守ることの大切さとか改めて実感できた。あとハチ高原は山がとてもキレイで自然がいっぱいでとても気持ち良かった。食事もどれもおいしくて充実した3日間を過ごすことが出来た。
- 義務教育を終えた私達にとって、とても意味のある合宿だったと思う。今までだらだらと生活していたので、高校生としてのけじめが足りなかった部分が非常に多かったように思う。今回の合宿は、どの先生もおっしゃっていたように、北高生活のスタートに過ぎないと思うのできっちりけじめをつけて、今後の生活を楽しんでいきたい。
- この3日間のオリエンテーション合宿で、友達の良い面をたくさん見つけることができました。全然話したことの無い子とも仲良くなれました。それと5組でのクラスアワーはとても充実していました。楽しく、やる時はやるクラスになれば良いなと思いました。
- 2泊3日、やはり慣れない環境の中で全てが有意義ではなく、あれほど一日中時計を気にして行動したのは始めてでした。ですがホームルームアワーではクラスの色が見えてきて、学校では見れない先生の表情なども発見し、きっとこの3年間の中では必要な行事だと感じ、これからの北高生活にいかせる事が得られたと思います。
- 最初はうまくやっていけるか不安だったが、こうやって一緒に生活をする事で、みんなの色々な点や良い点が発見できました。また産社も思ってた以上に自分を発見でき、インタビューゲームでは喋ったことの無い人ともコミュニケーションがはかれたのでよかったと思います。
- とても良かった。特にホームルームアワーでのクラス目標作りについては自分が今まで体験したことがないぐらい質の高い話し合いになり、とても興味深かった。このような機会がまたあるといいと思った。

